



岩手県立盛岡ひがし支援学校 PTA 会報

no. 14

岩手県盛岡市手代森 6-10-14
岩手県立盛岡ひがし支援学校 PTA
<https://www2.iwate-ed.jp/mhi-y/>
TEL : 019-601-3691
発行日 : 令和 8 年 3 月 12 日

花咲く丘

夢に向かって 羽ばたいていこう





花が咲いた一年

校長 黒川 圭司

まだ冬の厳しさを感じる日が多いものの、晴れ間にのぞく日差しの温かさに、遠くにあった春が少しずつ近づいてきていることを感じるこの頃です。

令和7年度の始まりには、大阪・関西万博が開幕し、社会全体が未来への期待に包まれるような話題が多く見られました。一方で、全国的にクマの出没が相次ぎ、昨年一年を表す漢字が「熊」となったことも印象的でした。こうした出来事を振り返りながら、令和7年度もいよいよ終わりに近づいています。

学校では季節の移ろいを感じながら、各学部の子どもたちが元気に、そして充実した学習活動を進めることができました。「ひがしの日」を一つのゴールとして取り組んだ「花咲く丘プロジェクト2025」では、地域に根ざした代表的な題材である「リンゴ」を柱に、生活年齢に応じた学習の展開や、小・中・高のつながりを意識した取り組みが行われ、次年度につながる大きな成果を得ることができました。

PTA活動においても、年間計画に基づき丁寧な準備を進めていただき、保護者の皆さまのご理解とご協力のもと、進路学習会や親子レクリエーション、年金制度説明会など、意欲的な活動が展開されました。昨年度の原稿で触れた「小さな積み重ねの大切さ」が、今年度も生かされ、学校教育・PTA活動の双方で多くの“花”を咲かせることができたように感じています。

大きな花、小さな花、さまざまな形がありますが、次年度もまた活動の花を咲かせることができるよう、学校と保護者の皆さまが力を合わせ、午年にあやかって、颯爽と駆け抜けてまいりましょう。

新年度もどうぞよろしくお願いいたします。



見守ることから始まる支援

PTA会長 鷹背 正輝

保護者の皆さま、先生方におかれましては、本年度のPTA活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。おかげさまで、無事に一年を締めくくることができました。

さて、振り返りますと、8月23日に東京で開催された「第41回全国研究協議大会 東京大会」に参加する機会がありました。シンポジウムのテーマは「ウェルビーイングは自己選択・自己決定から」。その中で、障がい者施設の代表の方による講演が、特に印象深く心に残っています。

講師の方は、支援の本質は「意思決定支援」であると話されていました。たとえ重度の知的障害や精神障害などにより意思が伝わりにくい場合であっても、本人の中には必ず意思が存在しており、支援する側の判断だけで進めるのではなく、本人の意思決定を待ち、見守り、主体性を育てていくことが大切であるという話でした。「言葉を発しないからといって、本人が考えていないわけではない」という言葉が、深く心に残りました。

私は保護者であると同時に、仕事を通して児童福祉にも携わっています。日々子どもたちと関わる中で、良かれと思ひ、本人に代わって決めてきた場面もあったのではないかと、改めて考えさせられました。意思決定を待ち、見守ることの大切さを再認識する機会となりました。

講演の最後に、「笑顔を引き出そうとするのではなく、笑顔の中で暮らすことが自己肯定感や自己存在の確認につながる。家族や支援者が笑顔でいることこそが、最も大切な支援である」という言葉がありました。本年度の経験と学びを、今後の子育て、仕事に生かしていきたいと思ひます。

12月4日(木)に開催された年金制度説明会にお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。毎年恒例のように開催しておりますが、何度お話を聞いても参考になることばかりで改めて勉強になると感じながら聞いておりました。

必ず通る障害年金申請手続き。これからも説明会は続けていき、保護者の方々のお力になれたらと思っております。今回参加できなかった保護者の皆様、まだ先かな?と思っている保護者の皆様もぜひ足を運んでいただけたらと思います。お待ちしております。

PTA進路部

PTA年金制度説明会

PTA進路部長 白野優子

PTA事業部

PTA研修会

PTA事業部長 鳥内紗希

今回、昨年ご提案いただいた案を参考にしながら意見を伺い、各事業所の皆様にお越しいただき、事業内容および個別の意見交換会を実施いたしました。各事業所によって作業内容は異なり、いずれの事業所もそれぞれに大きな魅力が感じられました。また、個別の意見交換では、一人ひとりが抱える悩みや課題について事業所の方に直接相談することができ、非常に有意義な時間になりました。



ひがしの日

11月1日(土)に、本校の一大行事である「ひがしの日」を開催しました。小学部は、日々の学習で取り組んでいる合唱、合奏、ダンスなどの音楽の学習発表会を行いました。たくさんの観客の皆さんの前で緊張しながらも、音楽を楽しみ、堂々と発表することができました。

1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



木工班

木工班は、従来のベンチに加え、新製品2つを製作、販売いたしました。目の前で、自分たちが作った製品が売れていくという経験は、何より生徒の喜びに思ったと思います。おかげさまで完売でした。ありがとうございました。

ひがしの日



クラフト班

クラフト班では、定番人気製品の他、新製品や限定品を加えて販売しました。大盛況ぶりに生徒たちは大喜びでした。大きな声での呼び込みや、お客様への気配りなど、生徒たちの機転と工夫が光る一日となりました。



高等部 *High School*

手芸班

「わくわくするよ
うな笑顔あふれる
お店」を目指して、当日の販売に取り組みました。レジを2つにしたのですが、それでもお客様の列ができ、30分前には完売してしまうほど、飛ぶように製品が売れていきました。



ひがしの日

農耕環境班

サツマイモ、じゃがいもを中心として、6種類の野菜を販売しました。夏の暑い日に作業をして育ててきた野菜が完売し、生徒たちは感動や喜びを感じる販売となりました。沢山の方に購入していただきありがとうございました。



食品加工班

食品加工班では、ひがしパン、ウインナーパン、あんぱんなど、6種類のパンを販売しました。生徒一人一人がこの日に向けて丁寧なパンを作り、お客様に販売することを楽しみにしていました。当日は多くのお客様にお買い上げいただき、ありがとうございました。

木工班

木工班では、「折り畳みテーブル」「スパイスラック」「キーフックスタンド」新製品「折り畳みテーブル」を販売しました。たくさんのお客様に、生徒が一生懸命に制作した製品をお買い上げいただき、販売会終了後は全員がとても充実した笑顔を見せてくれました。



陶芸班

新作「ドラゴンアイ皿」をはじめ、バラエティ豊かなお皿を製作、販売しました。購入いただいた方、励ましの声を掛けて下さった方、ありがとうございました。お陰様で生徒たちからは、「次は何を作ろうかな?」とアイデアが次々とあふれ出しています。



祝卒業

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！5年生の学級目標「やってみよう」からたくさんのチャレンジをして、力を伸ばし、6年生では学級目標「やるしかない」にして中学部へのラストスパート、小学部でのまとめに取り組んできました。6年生になり、みんなで公共のバスや電車で出かけることができ、学年としてのまとめ、団結を感じました。この勢いで、中学部では、「いつでも、どこでも、だれとでも」を大切に、さらにパワーアップした素敵な人になりましょう！いつでも、応援しています。



保護者あいさつ

久保美由紀さん(遥馬さん母)

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。苦手なことがたくさんある息子が二つ三つ挑戦をし、それを毎日根気強く指導、応援してくださいました。先生方、本当にありがとうございました。友達のみんなも発語の少ない遥馬に声を掛けてくれたり、お手紙を書いてくれたり、ありがとう！毎日楽しく学校に行くことができました。支えてくださった全てのみなさんへ感謝の気持ちでいっぱいです。

中学部でもいろいろな経験をして、たくさん思い出を作ろうね。これからもみんなの笑顔がいっぱい見られますように。

佐々木佐知子さん(正さん母)

不安でいっぱいだった入学式。初めてのスクールバス乗車時は眉をへの字にして不安な表情。保育園時代の行き渋りの嫌な記憶がよみがえりました。そんな心配はすぐに消え、笑顔が増え、学校で楽しく過ごしている様子がうかがえるようになりました。授業参観のたび、我が子だけでなく、友達の成長も微笑ましく見ておりました。友達から声を掛けられて戸惑うような子が高学年になる頃には、友達の姿を見つけて自ら駆け寄りたりと、嬉しい光景も見ることができました。先生方、周りの友達に恵まれ感謝の気持ちでいっぱいです。

6年間お疲れ様ー卒業おめでとう！

祝卒業

制服を着られるかどうかを心配していましたが、13人そろってちょっと大きめの真新しい制服を着て出席した3年前の入学式。今はもう、体も心も大きく成長して中学部の制服は丈が足りなくなりました。ご卒業おめでとうございます。



新谷咲子さん（昇悟さん母）

保護者あいさつ

小学校二年生まで市内の支援学級でしたが、三年生からは、盛岡ひがし支援学校開校に合わせて転入し、七年が経ちました。初めは同級生数人でしたが、年々人数が増え、友達も沢山でき、先生方も沢山かわりをもつ学校生活のお陰で息子の可能性がどんどん開花し、漢字、計算、九九、お金の計算までできるようになり、会話のスキルも上がり、成長を多方面で感じるようになりました。その一方で、いたずら心も成長し、周囲に迷惑をかけたこともあったのではないのでしょうか。

高等部では、いよいよ就労や自立に向けた作業の時間が多くなります。大人の仲間入りになる準備を意識して、気持ち新たに頑張ってほしいです。先生方、友達のみなさん、デイサービスのみなさん、今日まで本当にありがとうございました。

昇悟、三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！

佐々木奈美さん（雷音さん母）

中学部3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。雷音も初めての学校での環境の違いに緊張や戸惑いもあったけど、頑張りましたね。

入学して間もなく、家から鍵盤ハーモニカを持って朝から弾いていると、先生や友達が温かく声を掛けてくれることもあったそうです。持ち前の明るさもあり、色々な活動に参加できたようで、先生方には本当に助けられました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

祝卒業

第5回卒業生となる19名のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

盛岡ひがし初の関西修学旅行の思い出や卒業アルバム「緑の風に吹かれて～ひがしドリーム～」に刻まれた想いを胸に、これからの人生を大いに楽しんでください。応援していますよ。



のままの宥太でもいいかなと心に余裕が生まれ、親自身も少し成長したかもしれない。春から親子で楽しみを見つけたいです。ゆっくり歩んでいきたいです。幸せな三年間をありがとうございました。心より感謝申し上げます。

高等部でお世話になりました。入学当初は宥太にとって未経験のことも多く、上手くこなせるか心配でした。独特のコミュニケーションをとりたがるので、皆さんにお手数おかけしたと思いますが、先生方も温かく受け入れてくださいました。毎日穏やかに過ごす姿に安心することができました。保護者の方との出会いは、親子共々支えていただくものでした。このご縁を大切にしていきたいです。まだまだ成長してもらいたいですが、このまま、ありのままの宥太でもいいかなと心に余裕が生まれ、親自身も少し成長したかもしれない。春から親子で楽しみを見つけたいです。ゆっくり歩んでいきたいです。幸せな三年間をありがとうございました。心より感謝申し上げます。



伊勢澤 和子さん(宥太さん母)

保護者あいさつ



室岡 ルミさん(利胤さん母)

利胤は特別支援学校での大切な時間を終え、卒業の日を迎えました。

振り返ると、盛岡ひがし支援学校での生活はあっという間で、とても短く感じられます。それほど毎日が温かく、安心できる時間だったのだと思います。先生方が一人ひとりに寄り添い、小さな成長を共に喜んでくださったことに、感謝の気持ちでいっぱい입니다。これまで支えてくださった全ての皆様に心より御礼申し上げます。

編集後記

ページをめくりながら、子どもたちの学校での姿を思い浮かべていただけたら嬉しいです。本誌が、日常のささやかなひとときとなれば幸いです。一年間ありがとうございました。

(PTA広報部長 佐藤美由紀)

